

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合
景況実感調査委員会

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(2024年6月分)

ご協力ありがとうございました。2024年6月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 142 回答 135 回答率 95.1%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	13社	25社	41社	29社	27社	135社
	9.6%	18.5%	30.4%	21.5%	20.0%	
	(11.9)	(11.9)	(31.1)	(28.1)	(17.0)	
売上高	15社	25社	44社	23社	28社	135社
	11.1%	18.5%	32.6%	17.0%	20.7%	
	(10.9)	(15.3)	(29.9)	(27.0)	(16.8)	
在庫数量	13社	24社	56社	26社	11社	130社
	10.0%	18.5%	43.1%	20.0%	8.5%	
	(6.9)	(14.6)	(52.3)	(18.5)	(7.7)	
販売単価	6社	30社	81社	16社	1社	134社
	4.5%	22.4%	60.4%	11.9%	0.7%	
	(3.0)	(23.1)	(58.2)	(14.9)	(0.7)	
収益状況 (粗利)	12社	23社	53社	31社	16社	135社
	8.9%	17.0%	39.3%	23.0%	11.9%	
	(5.9)	(16.2)	(39.7)	(25.0)	(13.2)	
稼働率 (生産・加工設備)	4社	18社	47社	33社	13社	115社
	3.5%	15.7%	40.9%	28.7%	11.3%	
	(3.4)	(12.0)	(48.7)	(25.6)	(10.3)	
入出庫の トラック台数	4社	14社	58社	39社	16社	131社
	3.1%	10.7%	44.3%	29.8%	12.2%	
	(3.8)	(9.8)	(51.5)	(24.2)	(10.6)	
現在の 景況感	0社	6社	50社	57社	21社	134社
	0.0%	4.5%	37.3%	42.5%	15.7%	
	(0.0)	(6.0)	(35.8)	(37.3)	(20.9)	
3ヶ月後の 景況予測	0社	21社	88社	23社	2社	134社
	0.0%	15.7%	65.7%	17.2%	1.5%	
	(0.0)	(11.2)	(71.6)	(14.9)	(2.2)	
特記事項						

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
②()内の数字は前月のパーセントです
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
特記事項欄に別途記載いたします
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

景況実感調査(2024年6月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置きます。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 6月は前月より回復したものの、依然として前年割れの数量が継続。今後ますます人手不足は深刻になり需要が減ってくると思われる。そんな中、メーカー・商社主導で流通再編が進むと思われる。
- ② 6月の販売量は、このところで最低。GWがあった先月より▲7%、前年同月比で見ると▲16%。需要悪化は月を追うごとにひどくなっている印象。加えて、一向に減らない安価な輸入材に売り負けているケースが多くなって、販売減につながっている。
- ③ 荷動き低調。細かく短納期の忙しさはあったが、売上好転の兆しは感じられない。
- ④ 荷動きが悪く、手元の在庫を切り売りたい気分だが、価格を下げて量も売れるわけではないので、契約を減らしてじっと我慢する。市況が下がれば自分たちの首を絞めることになり、誰も得をしない。

中板

- ① 紐付き、店売り共に精彩を欠いている。当分は現状のまま推移すると思われる。
- ② 中板の引合いに関しては、各社当用買いに徹しており依然として低調で推移。動きの悪さから価格は弱含みの状況が続いており、値上げの声も聞かなくなっている。末端需要に具体的な案件が聞こえないことから、この状況は盆明けまで続く予想される。

厚板

- ① 建設機械は減産の機種も多くなってきて売上も減少傾向にある。店売り関連は人手不足の影響や運賃の問題もあり売上が伸びてこない。
- ② 前月に続き低位横這い。客先では図面が遅れていて発注の部署まで回らず、発注ができない状態が続いている。秋口にまとめて案件が出る可能性もあるので注意が必要。
- ③ <全体感>厚板需要は引き続き低位で推移しており、どの分野とも盛り上がりは見られない。仕事量の少ないこともあり、在庫調整が進まないことに加え、原料価格の変動に伴う鋼材価格の先行き不透明感などもあり、積極的な引合いは見られない。<分野別>建設機械は減産発表以降、機種によっては下方修正が拡大傾向となっている。産業機械においても、需要が減退していることにより世界的な在庫過多な状況となり、更なる生産調整が継続される見通し。店売り分野は、とくに建築関係が低迷していることもあり、荷動きは総じて少ない状況となっている。

— 舟安开形鋼 ・ I-I 开形鋼

- ① 経産省の鉱工業生産指数の速報値の発表では、5月より6月の方が数パーセント減少とか。実感できる。8月の夏休み、不需要期も含めて今後3カ月は我慢か。値上げ転稼より需要無き足許問題がクローズアップされてきた。
- ② 需要に満足感が無いのは皆同じ。最低限のコスト転嫁すら消極的な意見や声が聞かれるが、このままでは材料販売は赤字であり、共倒れの危機にあることを真剣に考え、社会的コスト増に背を向けずに立ち向かうべきか。
- ③ 現場が遅れていることが多い。職人が不足している。

異形棒鋼

- ① スポットの小口需要の増加もあって、6月は久しぶりに売上が伸びた。市況はメーカーの姿勢が固いため、今月も変化の無い1か月であった。
- ② 相場は変わらず。動きは低調だったが、7月前半に少し良くなった。

平鋼

- ① 6月の店売りは、5月の仮需の反動や需要減の影響もあり5月比で大幅なマイナスとなった。とくに6月後半頃から電話の本数やメールが減少している。社内加工の山積みも7月は6月比で4割くらいの受注残しかない状態。8月にかけて厳しい状況になりそうなので、物件等の取りこぼしが無いように情報収集等の営業をかけていく。

車重量形鋼

- ① 中小物件の少なさから依然として店売りは低調な状況。先行きに良い話も無く、この状況がしばらく続くことが予想される。

鋼管

- ① 稼働日数分、5月より増加したに過ぎず、総じて景況感は悪く、値上げも足踏み状態となっている。しばらくはこの状況が続くと予想される。
- ② 各メーカーの再値上げ(7月出荷分)があるが、5月に続き6月も大手問屋筋からの仮需は見られなかった。大手流通も一部サイズ以外の在庫は十分な様子。遅れていた首都圏の大型物件も引き取りが開始されつつあり、第2Qに期待したい。

構造用鋼

- ① 需要は全般的に低調。自動車向け不正問題の影響が懸念される。建機、工作機械関連は変わらず低水準のまま。在庫は調整によりほぼ適正。価格は、メーカー値上げ及び各種コスト増によるトン1万5千円以上の価格転嫁を6月帳場より実施。浸透は広がっている。

磨き棒鋼

- ① 自動車向け紐付き品の調整局面は変わらず継続中。今のところ回復の兆しも無く、上期は現状で推移する模様。建産機向けも同様に低位のまま。店売り品は若干の駆け込み需要もあるが、目立って増えることはない。販売単価の値上げは6月～7月でほぼ完了。

その他

<異形バーインコイル・ナマシ鉄線>

- ① 物価高騰、資機材高騰、人手不足、公共土木の案件数減とマイナス要因ばかりで先行き不透明。

<鉄スクラップ>

- ① スクラップ発生は低調。国内、海外共に需要も低迷していて荷動きが悪い状況が続いている。

<金属表面処理>

- ① 紐付きは予定通り。スポットは低調だった。6月からこの暑さ。この暑さでは操業も上げられない。